

行政報告の主な内容（6課16項目）

(1) 総務課	大雨被害について
	町議会議員選挙について
	石巻市への職員派遣について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	徘徊高齢者等検索ネットワークについて
	社会福祉士の採用について
(3) 町民生活課	パスポート事務の実施状況について
	住宅リフォーム等助成及び省エネ型生活灯補助について
(4) 産業振興課	農作物の育成状況について
	町民ビアガーデンについて
	花と炎の四季彩まつりについて
	上富良野町のPR事業について
(5) 建設水道課	景観形成推進事業について
(6) 教育振興課	国内交流事業について
	全道・全国大会出場について
(7) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成23年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【防災担当関係】)

はじめに、本町を襲いました大雨被害についてであります。まず7月14日から15日未明にかけての大雨では、河川災害16カ所で3,120万円、道路災害93カ所で7,275万円、排水路の被害13カ所で1,705万円となり、また農道被害では4,300mで400万円、合計で1億2,500万円でありました。

次に8月14日の大雨では河川災害3カ所で150万円、道路災害34カ所で1,240万円、排水路の被害8カ所で475万円、合計で1,865万円でありました。

更に9月2日から3日にかけては、積算降雨量が230mmを超える集中豪雨となり、河川災害49カ所で9,790万円、道路災害123カ所で1億7,610万円、排水路の被害31カ所で3,330万円、また公共施設被害4カ所で720万円となり、また農作物の被害では259haで8,808万円、農地被害は約50haで1,800万円、農道被害では9,240mで772万円となり、総額で4億3,380万円という甚大な被害となったほか、町道通行止め9カ所、更に17世帯の住宅床下浸水も発生したところであります。

被災されました町民の皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、現場での応急対応等にご協力いただきました皆様に、感謝とお礼を申し上げる次第であります。

す。

この、夏場を中心とした異常気象は、常態化しつつあると思われまますので、今後に備えるべく、関係機関や関係者の皆様方とも、減災等に向けた取組みについて、十分な協議を重ねなければならないと考えております。

(総務課行政報告【総務班関係】)

次に、8月14日に執行された上富良野町議会議員選挙についてであります。選挙管理委員会の管理のもと厳正に執行され、有権者数9,491人、投票率は前回は11.80%下回り、71.21%となりました。

この度の選挙において選出されました議員の皆様、改めてお祝い申し上げますとともに、これからも車の両輪のごとく、共に将来を見つめ、生き生きとしたまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(総務課行政報告【防災担当関係】)

次に、東日本大震災に伴う石巻市への職員派遣についてですが、当初5月7日から7月3日までの8週間の予定で職員派遣を対応しておりましたが、仮設住宅の整備が概ね終了予定となる8月中旬まで延長することとし、8月14日まで延べ18名の職員が、支援業務を行ってきたところであります。

この度の職員派遣を貴重な経験として、今後の防災対策に役立てて参りたいと考えています。

なお、私も6月25日から3日間同市を訪問し、お見舞いとあわせて被災状況を視察

させていただきましたが、一層、一刻も早い復興を願わずにはおれない状況でありました。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に、自衛隊関係であります。6月25日に第1特科団創隊北千歳駐屯地開庁59周年記念行事に、8月2日には第2師団及び旭川駐屯地東北復興祈念行事に、また8月7日には千歳基地航空祭りに、更に8月27日には自衛隊旭川地方協力本部創立5周年記念行事に出席いたしました。

また基地対策関係では、7月4日、5日に北海道駐屯地基地協議会によります平成24年度防衛施設周辺整備事業要望を、北海道防衛局、防衛省、総務省、財務省、関係国会議員へ、あわせて北海道駐屯地等連絡協議会によります北海道の自衛隊体制維持・拡充を求める中央要望も実施し、7月21日には全国基地協議会及び防衛施設周辺整備全国協議会に出席いたしました。また8月5日には砲撃音に対する要望を北海道防衛局へ行い、更に8月30日、31日には上富良野駐屯地現状規模堅持・更なる拡充及び上富良野演習場拡張要望を道内及び中央要望として防衛省及び関係国会議員へ行ってまいりました。

また、東日本大震災における自衛隊の活動について、写真パネル展が7月12日から28日まで、社教センターとかみんにおいて北海道防衛局の主催で開催され、9月2日にはその活動を知る道民セミナーが札幌市で開催され出席してまいりました。

(保健福祉課行政報告)

次に、懸案でありました社会福祉士の採用についてであります。年度を前倒しして、この9月1日付で資格を有する主任生活支援員1名を採用し、保健福祉課福祉対

策班兼地域包括支援センターへ配置しました。民間の高齢者福祉施設で13年の経験を有する者で、これからの上富良野町の福祉を担う人材として大いに活躍を期待しているところでもあります。

次に、認知症高齢者の安全確保に向けた、行方不明時の搜索ネットワーク体制の構築についてであります。ご家族に事前登録を呼びかけたところ、65歳以上の27名の方々が登録され、9月7日に警察署、消防署、居宅支援事業所及び福祉関係機関と連絡調整会議を開催しました。

なお、この体制整備のため、北海道から地域支え合い体制づくり事業補助の内示を受けたことから、関係する予算を今定例町議会にご提案させていただいており、あわせて、これを機に地域内の意識の高揚や、活動の成果につなげられるよう努めてまいります。

(町民生活課行政報告【総合窓口班関係】)

次に、町のパスポート事務についてであります。昨年7月に北海道からの権限移譲を受け、1年が経過いたしました。この間に受けましたパスポートの申請は197件で、従来の上川総合振興局で取り扱いをしていましたこれまでの実績を大きく上回る利用状況となっております。

(町民生活課行政報告【生活環境班関係】)

次に、住宅リフォーム等助成及び省エネ型生活灯補助についてであります。8月末現在の実績では、リフォームで32件399万円、リフォームと同時施工による住宅耐震化で2件60万円、また、省エネ型生活灯補助については、304灯1,282万円となっております。

当事業は、町内に本社をおく事業者による施工を条件としているため、地域経済への波及効果も得ているものと考えており、引き続き、助成制度の周知を図り、更なる二酸化炭素排出量の削減に努めてまいります。

(産業振興課行政報告【農業振興班関係】)

次に、農業関係についてであります。春耕期からの天候不順に加え、この夏は度重なる集中豪雨に見舞われ、農地や農業施設の被害はもとより、冠水による農作物被害も随所で発生いたしました。作目別では、既に収穫を終えている秋まき小麦が、7月の多雨により収量減、品質の低下があり、平年の7割程度と、大変残念な結果となっております。また、水稻は平年並みを予想しておりますが、主要作物である馬鈴しょやビート、豆類をはじめ、ほとんどの農作物では収量減が見込まれることから、出来秋が非常に厳しい状況にあると認識をしております。

今後におきましては、各関係機関と連携・調整し、経営的に大きな影響を受けた被災農業者の皆様に対し、今後、営農に大きな支障が生じないように、支援策の検討を進めてまいります。

(産業振興課行政報告【商工観光班関係】)

次に、商工及び観光関係についてであります。7月16日に「町民ビアガーデン2011」が、「かみふらのプレミアムビール【四季彩】実行委員会」が主体となり開催されました。

残念ながら当日は雨天となり、公民館での開催となりましたが、多くの町民の皆様楽しんでいただくことが出来ました。

今年度は製造量を昨年の1千ℓから3千ℓに増産し、プレミアムビールの魅力を広く町民の皆様にご堪能していただくとともに、地域特性を対外的にアピールし、誘客資源として活用が図られるよう、宿泊施設など、観光関連事業者の皆様にも、この取り組みへの参加をいただいた上で、6月下旬から8月中旬までの約2ヶ月間、町内の飲食店・観光事業所などをご利用いただきました。

次に、7月24日に開催した「第33回‘2011花と炎の四季彩まつり」についてですが、当日は天気にも恵まれ、町内外から約2万5千人の来場者をお迎えし、ステージショー・行灯行列・花火等の行事が予定通り行われ、無事に終了することが出来ました。

花と炎の四季彩まつりの開催に向けては、早くから行灯の製作をはじめ、イベントの準備・運営にご尽力いただきました関係者の皆様にご厚くお礼を申し上げます。

次に、本町のPR活動についてであります。8月5日に札幌大通公園西8丁目に開設されたサッポロビアガーデン会場において開催された「ふるさと北海道応援企画」に、更に9月23日にはサッポロビール北海道本社が主催するイベント「北海道はうまい 北の大収穫祭」に参加しました。

それぞれ上富良野町の地域資源や特産物などの紹介をはじめ、パンフレットの配布など、上富良野町への関心を高めていただくとともに、観光等での来訪につなげるため、関係機関の皆様のご協力・参加を得て、PR活動を行ってきたところであります。

また、東日本大震災の影響等も重なり、景気回復の兆しがなかなか見えてきておらず、商工業者の経営実態等についても、今後、注意深く見守って行きたいと考えております。

(建設水道課行政報告)

次に、景観形成推進事業についてであります。9月8日、保健福祉総合センター「かみん」を会場に、旭川開発建設部やシーニックバイウェイ支援センター、独立行政法人 寒地土木研究所などの共催により、「人がつながり、人をよぶ、地域が一体となった景観づくり＝シーニックバイウェイの原点」をテーマとした景観セミナーが開催されました。

ご参加いただいた関係者や多くの町民の皆様とともに、わか町の景観が貴重なまちづくりの資源であることを、深く再認識する機会となったところであります。

(教育振興課行政報告)

次に、国内外交流事業についてであります。7月27日から3日間の日程で西小学校から姉妹校であります津市の安東小学校へ10名の児童と引率教員2名の計12名が訪問し、ホームステイや津市の視察研修などを通して、両校の友好の絆をさらに深めてきたところであります。

次に、小中学生の部活動等での活躍の状況についてであります。小学生においては、上富良野小学校スクールバンドが9月3日に開催された第56回北海道吹奏楽コンクールで銅賞を、上富良野西小学校2年生の西塚紘汰^{にしづかこうた}さんが、全道書道コンクール小学校1・2年生硬筆の部で最高賞を受賞しました。また、上富良野小学校2年生の榎本^{かしもと}空龍^{くりゅう}さんが第31回北海道少年少女空手道錬成大会で準優勝し、8月6日・7日に東京武道館で開催された第11回全日本少年少女空手道選手権大会に出場しました。更に、バレーボール少年団が、9月18日に開催された第22回ふかがわカップ全道小学生バレーボール優勝大会に出場するなど、コンクール・競技会等で優秀な成績を収めております。

中学生においては、上富良野中学校吹奏楽部が9月4日に開催された第56回北海道吹奏楽コンクールに出場し、全国大会の出場権は逃しましたが5年連続金賞を獲得しました。また、上富良野中学校陸上部13名が9月4日に開催された北海道ジュニア陸上競技選手権大会兼ジュニアオリンピック陸上競技大会北海道選手選考会へ出場し、円盤投げで、増田^{ますだりさ}梨沙さんが優勝し、10月28日から横浜市で開催されるジュニアオリンピック陸上競技大会への出場権を獲得するとともに、9月17・18日に開催された全道新人大会では短距離チームが400メートルリレーで優勝するなど、各種大会等において優秀な成績を収めており、子供たちの活躍に大きな声援を送るものであります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてであります。6月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、9月14日現在、件数で29件、事業費総額で1億8,365万5,500円で、本年度累計では41件、事業費総額2億3,757万3,000円となっております。

詳細につきましては、お手元に、「平成23年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、御高覧いただきたく存じます。